企画展「正月の風物詩－年越し･歳取りの芸能や美術」

2027 年 1 月 1 日(金･祝)～3 月 22 日（月･休）

公益財団法人大倉文化財団　大倉集古館



① 植中直斎《三番叟之図》昭和 26 年(1951) 個人蔵

【概要】

正月とは旧暦 1 月の別名です。正月は年神を迎え五穀豊穣を祈るとともに、年神に霊力をいただき魂の更新をして「歳を取る」時期でもありました。かつての人々は 12 月中頃から正月準備を始め、 1 月後半までを「年越し」として意識し、年末年始の年越しの時期には、様々な行事や芸能が生まれました。

本展覧会では、「元旦－旭（あさひ）の美術」「正月の民間芸能」「正月は誕生日－長寿を祝う」「正月を言祝ぐ（ことほぐ）－能狂言・歌舞伎の世界」という 4 つのテーマを設け、能狂言面や装束、絵画や工芸品を展観し、令和 9 年のお正月をお祝いいたします。

あわせて、丸一仙翁 社中による、江戸東京に脈々と伝承される江戸太神楽（だいかぐら）（東京都無形民俗文化財指定）のパネル展示および公演を行います（公演は 2/6)。

作品数：約 60 点

■1．元旦－旭の美術





②　　③

「旭（あさひ）」とは、太陽が昇り始める様子を表わした漢字で、初日の出を意図した画題で用いられます。太陽を画面中心に大きく描いた絵画は江戸時代に描かれるようになりました。これは、正月元旦の初日の出を庶民が拝むようになったことと関連があると考えられています。初日の出を拝むことは、明治以降には全国的に広まりました、旭を描いた絵画も数を増しました。本展では、おめでたい松や鶴とともに、旭が描かれた作品を取り上げます。

②長澤蘆雪《旭に鶴図》江戸時代･18 世紀（個人蔵）
③狩野芳崖《旭に老松図》明治 41 年頃（個人蔵）

■2．正月の民間芸能

江戸時代から昭和の初めまで、庶民の間で愛された新春芸能をご紹介します。「獅子舞」や「曲芸」を行う「太神楽」や、正月に家々を訪問し舞や歌でその家の繁栄を祈る「万歳」「鳥追い」「春駒」など、今ではほとんど見られなくなった貴重な芸能を描いた作品を展示いたします。併せて、福々しい笑顔で人々を魅了する「乙」や「お多福」とよばれる福女の面や絵画なども展示します。

④英一蝶《太神楽図》（雑画帖のうち）江戸時代･17 世紀（大倉集古館蔵）
⑤歌川国貞《正月風情図》江戸時代･18～19 世紀（個人蔵）
⑥藤原信一《風俗図》明治～大正･20 世紀（個人蔵）
⑦《狂言面　姫》江戸時代･17 世紀（大倉集古館蔵）



④



⑤



⑦



⑥

■４．正月は誕生日―長寿を祝う

江戸時代では、生まれた時が１才で、お正月を迎える毎に１つずつ年を加える数え年の考え方がありました。お正月には年神様から皆が１つ年をいただきます。また、平均寿命が 40～50 歳であったといわれる江戸時代において、長寿であることは、おめでたいことでもありました。本章では、長寿を寿ぐ絵画とともに、能狂言でとりあげられる魅力的な老人の面をご紹介します。

⑧呉春《武陵桃源図屏風》（左隻）、江戸時代･天明 4～5 年（1784～5）（大倉集古館蔵）

⑨雪庵《寿老人図》（個人蔵）江戸時代～明治・19 世紀（個人蔵）



⑧



⑨

■３．正月を言祝ぐ―能狂言・歌舞伎の世界

新年の幕開けにふさわしいエネルギーと祝福に満ちた能の演目「石橋」や、祝賀の場に欠かせない特別な祝言曲「翁」を取り上げます。絵画、能面、能装束を用いて演目の説明を行い、それぞれの作品の魅力などもお伝えします。また「翁」から派生した、歌舞伎舞踊「三番叟」を描いた作品も展示いたします。

⑩鈴木守一《石橋・牡丹図》江戸時代～明治･19 世紀（大倉集古館蔵）

⑪《紅地紗綾形打板模様厚板》江戸時代･18 世紀（大倉集古館蔵）

⑫《能面　翁面》江戸時代･18～19 世紀（大倉集古館蔵）

⑬清川守光《翁末広三番叟蒔絵三組盃・若松蒔絵花月台》江戸時代･19 世紀（個人蔵）



⑫



⑩



⑪



⑬

企画展「正月の風物詩―年越し･歳取りの芸能や美術」

【会期】　2027 年 1 月 1 日(金･祝)～3 月 22 日（日･休）

【開館時間】　10：00～17：00（入館は 16：30 まで）

【休館日】　毎週月曜日（ただし、1/4、1/11、3/22 は開館)、1/12

【入館料】　一般 1,000 円、大学生・高校生 800 円、中学生以下無料

割引併用不可　※同会期中のリピーターは 500 円引き（一般、大学・高校生料金お支払いの方のみ）

※20 名様以上の団体は 500 円引き

※障がい者手帳、被爆者手帳をご提示の方とその同伴者 1 名は無料

※お着物（和装）でご来館の方は 300 円引き（割引併用不可）

※ミュージアムパスポート 5,500 円

※オークラ東京とのセット鑑賞券（ランチセット 6,000 円、茶菓セット 3,100 円）

【主催】　公益財団法人 大倉文化財団　大倉集古館

【協力】　大成建設株式会社、特種東海製紙株式会社、株式会社ニッピ、株式会社ホテルオークラ

【会場】　公益財団法人 大倉文化財団　大倉集古館

〒105-0001　東京都港区虎ノ門 2-10-3（オークラ東京前）

TEL:03-5575-5711

https://www.shukokan.org/

【アクセス】
・東京メトロ南北線　六本木一丁目駅中央改札口（泉ガーデン方面）より 5 分
・東京メトロ日比谷線　神谷町駅 4b 出口より 7 分
・東京メトロ日比谷線　虎ノ門ヒルズ駅 A2a 出口より 8 分
・東京メトロ銀座線・南北線　溜池山王駅 13 番出口より 10 分

【展覧会に関するお問い合わせ】
（広報担当）髙野明子（学芸補助）（ takano.a@shukokan.org ）、
（展覧会担当）四宮美帆子（学芸課長）（ shinomi@shukokan.org ）
※2 人宛にご連絡下さい
電話：03-5575-5711、FAX：03-5575-5712

【イベント】

■担当学芸員によるギャラリートーク

日時：1/22（金）、2/19（金）、2/23（火･祝）、3/10（水）各 14:00 から（約 1 時間）

担当：四宮美帆子（当館学芸課長）

会場：大倉集古館 展示室

聴講料：無料（ただし入場には入館券が必要です）

お申込み：不要

■江戸太神楽を楽しむ

2027 年（令和 9）の旧正月に当たる 2/6 に、江戸東京に脈々と伝承される江戸太神楽（東京都無形民俗文化財指定）の公演を行います。

日時：2/6（土）（各計約 30 分）

①11 時開始～：寿獅子舞・曲撥・五階茶碗の曲・傘の曲

②14 時開始～：寿獅子舞・一つ鞠の曲・土瓶の曲・花籠鞠の曲・傘の曲

出演：丸一仙翁 社中

会場：大倉集古館地下 1 階（獅子舞は 1 階、2 階の展示室を巡回）

料金：無料（ただし入場には入館券が必要です）

定員：混み合う場合は入場を制限する場合がございます。

お申込み：不要



⑭

【次回展覧会】

特別展

「コスチュームジュエリー シャネル、スキャパレッリ、ディオール ― 小瀧千佐子コレクション最後の公開 ―」　2027 年 4 月 6 日(火)～6 月 27 日(日)



【日本初公開】

《ネックレス”水蓮の葉に遊ぶカエル”》

制作：ジャン・シュルンベルジェール

1938 年　フランス

小瀧千佐子蔵

企画展

正月の風物詩－年越し･歳取りの芸能や美術
報道内覧会のご案内

2026 年 12 月 25 日（金）（受付）13：30～、（作品解説）13：45～14：30、（終了）15：00

担当学芸員より展覧会のご説明や作品解説を行い、ご質問にお答えいたします。
展示室内をご撮影いただけます。

ご出席いただける場合は、下記フォームにご記入の上、FAX かメールにてご返信ください

返信先　FAX　　０３－５５７５－５７１２

E-mail　takano. a@shukokan. org

大倉集古館　高野明子　宛

■ご担当者情報

貴社名	
ご担当職・ご氏名	
電話番号・FAX 番号	
メールアドレス	

■参加者（上記以外）

ご所属・役職名	ご氏名

【会場】大倉集古館　〒105-0001　東京都港区虎ノ門 2-10-3（オークラ東京正面玄関前）

・東京メトロ南北線　六本木一丁目駅改札口（泉ガーデン方面）より 5 分
・東京メトロ日比谷線　神谷町駅 4b 出口より 7 分
・東京メトロ日比谷線　虎ノ門ヒルズ駅 A2a 出口より 8 分
・東京メトロ銀座線・南北線　溜池山王駅 13 番出口より 10 分

企画展　　正月の風物詩－年越し･歳取りの芸能や美術
広報用画像申請書

宛先：　　大倉集古館　　学芸部　高野明子　宛
FAX：　　03-5575-5712
E-mail：　takano. a@shukokan. org

■図版使用に際しての注意
・本展覧会の紹介を目的とする内容にのみご使用ください。
・ご申請いただいた記事・番組に限り、本展の広報用画像の使用が可能です。
・使用後のデータは破棄してください。・ウェブ上で使用する場合は、コピーガードを施してください。
・画像への文字のせはご遠慮ください。・図版使用の際は必ず作品キャプションを載せてください。
・画像使用の掲載誌や放送 DVD は 1 部ご送付ください。

希望	No	作品
	1	植中直斎《三番叟之図》昭和 26 年(1951) 個人蔵
	2	長澤蘆雪《旭に鶴図》江戸時代･18 世紀（個人蔵）
	3	狩野芳崖《旭に老松図》明治 41 年頃（個人蔵）
	4	英一蝶《太神楽図》（雑画帖のうち）江戸時代･17 世紀(大倉集古館蔵)
	5	歌川国貞《正月風情図》江戸時代 18～19 世紀(個人蔵)
	6	藤原信一《風俗図》明治～大正･20 世紀(個人蔵)
	7	《狂言面 姫》江戸時代･17 世紀（大倉集古館蔵）
	8	呉春《武陵桃源図屏風》(左隻)、江戸時代･天明 4～5 年（1784～5）（大倉集古館蔵）
	9	雪庵《寿老人図》（個人蔵）江戸時代～明治･19 世紀（個人蔵）
	10	鈴木守一《石橋・牡丹図》江戸時代～明治･19 世紀（大倉集古館蔵）
	11	《紅地紗綾形打板模様厚板》江戸時代 18 世紀（大倉集古館蔵）
	12	《能面　翁》江戸時代･18～19 世紀（大倉集古館蔵）
	13	清川守光《翁末広三番叟蒔絵三組盃・若松蒔絵花月台》、江戸時代･19 世紀（個人蔵）
	14	丸一仙翁社中による太神楽（寿獅子舞）（東京都無形民俗文化財指定）

貴社名	
ご担当者名	
TEL/Email ご連絡先	
媒体名、発行日	